

文部科学大臣杯 第47回全日本大学男子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

A球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場A 第1試合 8:34 ~ 10:37 【試合時間 2時間03分】

No.1		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
	中京大学	0	0	2	5	2						9	○深津悠平一和田隆太
	国士舘大学	1	0	0	0	0						1	●小林大記、武井大樹一吉田 学

【先攻】(本)小池昌弘、山口恭平(三)伊藤太慈(二)小池昌弘

【後攻】(二)勝沼雄斗

【戦評】

1点を追う中京大は、3回に小池の2ランで逆転すると、4回には打者一巡・6安打の集中打を浴びせて大量リードを奪い、試合を決めた。国士舘大は初回、今泉のタイムリーで先制。2回以降も三塁まで走者を進めるものの、本塁が遠かった。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

A球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場A 第2試合 11:11 ~ 13:12 【試合時間 2時間01分】

No.2		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	京都産業大学	0	0	2	0	0	0	0				2	●合田圭佑一奥村雄太
	国際武道大学	0	0	0	3	1	0	x				4	○滝口悠真一小澤拓也

【先攻】(三)左脇正人(二)杉中義明

【後攻】――

【戦評】

2点を先行された国際武道大は、4回に小澤の二遊間安打を足かかりに、四球・安打に敵矢を絡めて3点を奪って逆転。5回にも1点を加え、このリードを滝口投手の力投で守り、逆転勝ちした。京都産業大は、3回に、敵失を足がかりに3本の長短打を浴びせて2点を先取したが、4回以降加点できず。最終回も走者を三塁に置くも得点に至らず敗れた。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

A球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場A 第3試合 13:44 ~ 17:59 【試合時間 2時間31分】

No.3		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	四天王寺大学	2	1	2	0	0	1	2				8	○中松竜佑一上野佑貴
	広島修道大学	0	1	0	0	0	0	2				3	●酒井悠希、川合勇作一森 良輔、鳥谷 賢

【先攻】(二)敷田哲平②、長嶋建太

【後攻】――

【戦評】

雨天のため、1時間44分に及ぶ断続的な中断のあったこの試合は、四天王寺大が初回に1点を先行するなど、序盤に5点を挙げ、終盤にも二塁打を足場にするなどして着々と加点し、試合を決めた。広島修道大は、あとのない最終回、2つの四球から玉里のタイムリーで2点を返し、なおも二死満塁のチャンスを築いたが、力尽きた。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

A球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場A 第4試合 18:26 ~ 20:19 【試合時間 1時間53分】

No.4		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	高知工科大学	0	0	0	0	0	0	1				1	●赤木亮太一上瀬恭介
	高崎経済大学	2	0	0	1	0	0	x				3	○滝本 涼一金井塚和希

【先攻】(三)安井 新

【後攻】――

【戦評】

高崎経済大は初回、無死二・三塁で金井塚が投手強襲の安打を放ち2点を先制。4回にも二死から梁瀬の適時打で追加点を挙げ試合を優勢に進めた。高知工科大学は高崎の滝本投手に4安打に抑えられたが、最終回に大島のセンター前安打で1点を返し意地をみせた。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学男子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

B球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場B 第4試合 17:25 ~ 19:37 【試合時間 2時間12分】

No.5		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	東海大学	0	2	1	1	0	2	0				6	○高橋宏允ー竹内和樹
	鹿児島国際大学	0	0	0	0	0	0	0				0	●二反田義征ー厚地了実

【先攻】(二)田中翔太

【後攻】(二)米森大貴

【戦評】

東海大は2回、3つの四死球で満塁とすると、福永の先制タイムリーと田中の犠牲フライで2点を先制。3回に1点、4回にも1点を加えると、6回にも2本の安打にダブルスチールを絡めて2点を挙げてダメ押しした。鹿児島国際大は、再三にわたって塁上に走者を送るものの、あと一本が出ず。最終回も米森が二塁打で出塁したが、後続を断たれて涙を飲んだ。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

B球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場B 第3試合 13:02 ~ 16:22 【試合時間 2時間05分】

No.6		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	愛知大学	1	0	3	4	0	2	0				10	○林 俊輔ー小池祐太
	中央大学	0	0	0	4	2	0	0				6	●小山祐輝、平野智士、小山祐輝ー村田貴大

【先攻】(本)林 俊輔②、飯田 啓(三)小池祐太、宮崎 諒(二)小池祐太、栗本拓哉

【後攻】(本)植西剛大

【戦評】

愛知大は初回、小池の三塁打に暴投が絡んで先制点を挙げ、3回に林の3ランで加点すると、4回には林の2打席連続となる3ランなどで4点を加えた。投げでは、林投手が被安打8を浴びるも5奪三振の力投で、2回戦にコマを進めた。中央大は4回に植西の2ランなどで4点を返して反撃すると、5回にも打者8人の攻撃で2点を返したが、猛追及ばず敗れた。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

B球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場B 第2試合 10:15 ~ 12:36 【試合時間 2時間21分】

No.7		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	茨城大学	2	0	3	0	1	0	0				6	島根聖平、●山崎 翼ー根本隆範
	龍谷大学	1	1	1	1	3	0	x				7	○戸梶紘希ー浅浦紘太郎

【先攻】(三)山崎 翼(二)阿部武仁、岡田純平

【後攻】(三)浅浦紘太郎(二)西川 健

【戦評】

龍谷大は、2点を先行されて迎えた5回、敵失から西川のこの試合2本目となる二塁打などで3点を奪って逆転に成功。終盤の攻撃を封じて粘り勝ちで2回戦にコマを進めた。茨城大学は初回到2点、3回にも2本の長打などで3点を加え、試合を優勢に進めたが、逆転された6回二死満塁の絶好機であと1本が出ず、惜敗した。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

B球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場B 第1試合 8:33 ~ 9:43 【試合時間 1時間10分】

No.8		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	京都大学	0	0	0	0	0						0	●湯井大貴ー辻 英剛
	早稲田大学	0	1	10	0	x						11	○古川恵士、西村直晟、増井和輝ー平野修太、沓澤 翔

【先攻】――

【後攻】(本)平野修太

【戦評】

早稲田大は、3回に平野のグランドスラムなど、打者16人・10安打の猛攻で大量10点を挙げると、3投手のリレーで快勝。京都大は、4回に連続安打で1・3塁の好機を築くも、得点できず敗れた。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学男子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】 第1回戦

C球場:坂戸市民総合運動公園第2多目的運動場A 第1試合 8:28 ~ 10:36 【試合時間 2時間08分】

No.9		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
福岡大学		0	0	1	1	0	1	1				4	○梶原大志ー山口直人
福井県立大学		1	0	0	0	0	0	0				1	●伊藤暢康ー渡辺貴弘

【先攻】(三)山口直人

【後攻】――

【戦評】

福岡大は1点を先制されたが、3回表戸川の適時打で同点に追いつき、4回には山口の左越え三塁打で逆転。6回、7回にも四球で出塁した走者を返し二回戦に進出した。
福井県立大も初回、一死一・三塁から重盗を決め先制点を挙げたが、その後は福岡大の梶原投手に抑えられた。

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】 第1回戦

C球場:坂戸市民総合運動公園第2多目的運動場A 第2試合 11:05 ~ 12:38 【試合時間 1時間33分】

No.10		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
仙台大学		0	0	0	0	0	0	0				0	●八重樫祐紀ー猪原直和
中京学院大学		0	1	0	2	0	0	x				3	○片岡 涼ー園田智幸

【先攻】――

【後攻】(三)大井英幸(二)山下 治、池見郁哉

【戦評】

中京学院大は、大井の適時三塁打で1点を先取すると、4回には池見の2点タイムリー二塁打で加点。投げては片岡投手が三塁を踏ませないピッチングで無失点に抑え、2回戦進出を決めた。仙台大は、相手投手を攻めあぐみ、塁上に走者を置くものの得点には至らず。最終回も二死から安打の走者を出したが、反撃及ばずに敗れた。

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】 第1回戦

C球場:坂戸市民総合運動公園第2多目的運動場A 第3試合 13:07 ~ 16:14 【試合時間 1時間50分】

No.11		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
香川大学		0	0	2	0	0	2	0				4	●柳田諭志ー仁科英明
九州共立大学		4	0	0	0	0	1	x				5	○前田征那、三谷祥平ー山田雄太郎

【先攻】(二)千代盛翔平

【後攻】(二)笠立孝彰、立石勤大

【戦評】

九州共立大は、初回到打者一巡・5安打の攻撃で4点を先制後、同点とされた6回、敵失からバント安打と犠牲フライで再度勝ち越し。この1点を先発・前田投手から継投した三谷投手が守りきり、激戦を制した。香川大は、4点を先行された3回に2点を返すと、6回にも千代盛の二塁打などで2点を加え一旦は同点に追いついた。しかしあと一歩及ばず惜敗した。

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】 第1回戦

B球場:坂戸市民総合運動公園軟式球場B 第5試合 19:57 ~ 21:47 【試合時間 1時間50分】

No.12		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
常葉学園大学		0	0	0	2	0						2	●神薮晃智、平良希ー佐藤 光
環太平洋大学		9	0	0	1	x						10	○今谷圭吾、謝花喜仁ー小幡瑛司、岩原史典

【先攻】(本)高橋孝芳

【後攻】(本)松藤創一、中本直樹

【戦評】

日没のため照明のある軟式球場に球場を移して行われたこの試合で、環太平洋大は初回、松藤、中本の2本塁打を含む6安打などで9点を先制。常葉学園大も4回に高橋のセンターオーバーの本塁打で2点を挙げ反撃したが、初回の失点があまりにも大きく及ばなかった。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学男子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

D球場: 鶴ヶ島市運動公園サブグラウンド 第4試合 14:58 ~ 16:21 【 試合時間 1時間23分 】

No.13		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
	岡山大学	4	1	6	0	0						11	○水野拓実-尾相史人
	信州大学	1	0	0	0	0						1	●鈴木拓也-富岡諭

【先攻】(本)池内拓洋(二)大谷俊貴

【後攻】――

【戦評】

岡山大は四球、死球、二塁打などで4点を先制。その後も2回に1点、3回に満塁ホームランなどで6点加点して試合を決めた。信州大学も初回に敵失を絡めて1点を返したが、2回以降相手投手に反撃を断たれた。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

D球場: 鶴ヶ島市運動公園サブグラウンド 第3試合 12:53 ~ 14:24 【 試合時間 1時間31分 】

No.14		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	盛岡大学	0	0	0	0	1	0	0				1	●櫻田亮介-杉山大輔
	熊本学園大学	1	2	0	0	4	0	X				7	○土田翔平、内村駿介-栗生裕介

【先攻】(本)平山将司、濱崎裕太(三)栗生裕介

【後攻】(本)杉山大輔

【戦評】

熊本学園大は初回から得点を重ね、5回には平山・濱崎の連続アーチなどで4得点を挙げ試合を決めた。盛岡大は5回、初安打となる杉山のホームランで1点を奪うも、反撃はこの1点にとどまった。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

D球場: 鶴ヶ島市運動公園サブグラウンド 第2試合 10:56 ~ 12:29 【 試合時間 1時間33分 】

No.15		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
	関西大学	0	0	0	0	0						0	●西耕太郎-永見淳
	日本体育大学	0	4	2	3	X						9	○立石壮平、河野拓郎-中西康太

【先攻】――

【後攻】(本)遠藤大輔、古敷谷亮、久保和正(二)中西康太

【戦評】

日本体育大が、4回の3連弾など終始攻撃の手を緩めず、投げても、立石・河野の継投で出塁を許さず、快勝した。関西大学は、西投手が初回の立ち上がり、連続三振を含め三者凡退としたが、2回以降相手打線につかまり、敗れた。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

D球場: 鶴ヶ島市運動公園サブグラウンド 第1試合 8:26 ~ 10:29 【 試合時間 2時間03分 】

No.16		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	神戸学院大学	1	4	0	1	0	0	0				6	○片岡正貴、楠岡侑也、津森伸、永野壘一丸山大地
	学習院大学	0	0	0	0	0	0	1				1	●照山篤融、島村裕輝、西田圭吾一黒澤淳

【先攻】(本)川島正敬(二)川島正敬

【後攻】(三)大森寛文、山下義朗

【戦評】

神戸学院大は1点先行して迎えた2回、先発・照山投手をつかまえ、和田の2点タイムリーと川島の左越え2ランなどで4点を挙げ勝利した。学習院大は毎回のように入打を放つものの得点につながらず、最終回、代打・山下の三塁打で1点を挙げたが及ばなかった。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学男子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日) 】 第2回戦

D球場: 鶴ヶ島市運動公園サブグラウンド 第1試合 8:58 ~ 11:46 【 試合時間 2時間48分 】

No.17		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	中京大学	0	0	2	0	0	0	4				6	○深津悠平-和田隆太
	国際武道大学	4	0	0	0	0	0	0				4	●滝口悠真-小澤拓也

【先攻】(三)山田将也(二)伊藤太慈

【後攻】(三)照屋凌(二)岩間謙司郎、小澤拓也

【戦評】

中京大は、4点ビハインドで迎えた3回に2点を奪うと、後がない7回には、二死から、小池の一塁線を破る起死回生のヒットで満塁の走者を一掃するなど、都合4点を加えて鮮やかな逆転勝ちをおさめた。国際武道大は初回に4点を先行したが、リードを守りきれずに力尽きた。

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日) 】 第2回戦

鶴ヶ島D球場から会場変更

I球場: 鶴ヶ島市運動公園多目的広場B 第2試合 13:33 ~ 16:10 【 試合時間 2時間22分 】

No.18		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	四天王寺大学	1	0	0	0	0	0	0	1			2	○中松竜佑-上野佑貴
	高崎経済大学	0	0	1	0	0	0	0	0			1	●滝本涼-金井塚和希

【先攻】(本)鴻谷亮介

【後攻】(本)梶原裕作(二)金井塚和希

【戦評】

四天王寺大・中松、高崎経済大・滝本両投手の投げ合いとなったこの試合は、1対1の同点のまま、タイブレーカーに突入。四天王寺大は8回、内野ゴロと野選で二塁走者を返し、勝ち越し。その裏の高崎経済大の反撃を断ち、激闘を制した。高崎経済大は、7回裏無死満塁の絶好機を得点に結び付けることができず、惜敗した。

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日) 】 第2回戦

C球場: 坂戸市民総合運動公園第2多目的運動場A 第2試合 11:43 ~ 13:53 【 試合時間 2時間10分 】

No.19		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	東海大学	0	4	0	0	0	1	0				5	持田直哉、○高橋宏允-竹内和樹
	愛知大学	2	0	0	1	0	1	0				4	●林 俊輔-小池祐太

【先攻】(三)浅原史登

【後攻】(本)栗本拓哉

【戦評】

東海大は2回、3本の安打に敵失が絡んで、4点を奪って逆転。6回にも浅原の三塁打で1点を加え、接戦をものにした。愛知大は1回に栗本の本塁打などで2点を先行、4・6回にも1点ずつ加えて追撃したが及ばずに惜敗した。

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日) 】 第2回戦

C球場: 坂戸市民総合運動公園第2多目的運動場A 第1試合 8:57 ~ 11:17 【 試合時間 2時間20分 】

No.20		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	早稲田大学	3	5	1	0	0	0	0				9	西村直晟、○大嶋 翼、増井和輝-平野修太
	龍谷大学	0	0	0	3	3	0	0				6	●戸梶紘希-浅浦紘太郎

【先攻】(本)北村和也(三)溝口 聖②(二)吉田享平

【後攻】(二)戸梶紘希、原畑英治

【戦評】

早稲田大は、初回二死満塁から溝口の走者一掃のタイムリー三塁打で3点を先取。2回には溝口の2打席連続の三塁打を含む打者一巡・5安打の攻撃で5点を挙げ、3回にも北村のソロで1点を加えた。龍谷大は、追う展開で迎えた4回にまず3点を奪うと、5回にも4連打で3点を挙げて必死の追い上げを見せたがあと一歩及ばずに敗れた。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学男子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

B球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場B 第1試合 8:55 ~ 10:46 【試合時間 1時間51分】

No.21		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	福岡大学	0	0	1	0	0	0	0				1	●梶原大志ー山口直人
	中京学院大学	1	0	1	0	3	2	x				7	○竹本流星ー園田智幸

【先攻】(二)山口直人

【後攻】(本)芝 大紀、山下 治

【戦評】

中京学院大は、同点に追いつかれた3回、一死満塁から山下が四球を選んで、勝ち越しに成功。5回には山下の2ランなどで3点、6回にも小橋の2点タイムリーで得点を重ね、試合を決めた。福岡大は、3回に四球と安打2本に野選で1点を挙げ、一旦は同点に追いついた。しかし、再勝ち越しを許した後は、チャンスをつくるものの、得点に結びつかず、2回戦で姿を消した。

□ ★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

B球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場B 第2試合 11:10 ~ 13:00 【試合時間 1時間50分】

No.22		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	環太平洋大学	1	0	0	0	0	0	0				1	●今谷圭吾ー小幡瑛司
	九州共立大学	0	1	0	1	1	0	x				3	○三谷祥平ー山田雄太郎

【先攻】――

【後攻】(二)山田雄太郎、立石勤大

【戦評】

九州共立大は2回に同点に追いつくと、4回に山田・立石の二塁打で1点、5回にも3本の安打で1点を加えた。投げでは、三谷投手の要所を抑えるピッチングで、環太平洋大の反撃を許さず、準々決勝進出を決めた。環太平洋大は、初回に中本のレフト前安打から1点を先取。しかし、2回以降は3・4・5回と走者を三塁に置くものの、あとひと押しが出ず惜敗した。

□ ★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

A球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場A 第2試合 11:47 ~ 13:45 【試合時間 1時間58分】

No.23		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	岡山大学	0	1	9	1	3						14	○水野拓実、水谷晃敏ー居相史人
	熊本学園大学	0	0	0	1	0						1	●土田翔平、内村駿介ー栗生裕介

【先攻】(三)吉田光一(二)平井貴久

【後攻】――

【戦評】

岡山大は2回に1点を先行、3回には打者14人・6安打の猛攻で大量9点を挙げ、試合を決めた。追う熊本学園大は、4回に2本の安打と四球で二死満塁とすると、死球押し出しで1点を返した。5回にも、二死ながら3連打で満塁の好機を築いたが、後続が断たれて敗れた。

□ ★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

A球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場A 第1試合 9:00 ~ 11:20 【試合時間 2時間20分】

No.24		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	日本体育大学	0	1	0	0	3	0	0				4	●立石壮平ー中西康太
	神戸学院大学	2	0	0	3	0	0	x				5	○片岡正貴ー丸山大地

【先攻】(本)深谷祐太、久保和正(二)山崎正晴

【後攻】(本)川島正敬(三)樋上翔平

【戦評】

神戸学院大は初回、一死一塁から川島の2ランで先制。4回には、一死満塁から道仲の犠飛でまず1点、樋上の三塁打で2点を加えると、このリードを片岡が1点差でしのいで逃げ切った。日本体育大は、4点差を追う5回に先頭・山崎の二塁打を足場に、久保の2ランなどで1点差としたが、あと一歩及ばず。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学男子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日) 】 準々決勝 鶴ヶ島D球場から会場変更

I球場: 鶴ヶ島市運動公園多目的広場B 第3試合 16:29 ~ 17:54 【 試合時間 1時間25分 】

No.25		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	6回コールド
	中京大学	1	0	0	4	1	1					7	○深津悠平－和田隆太
	四天王寺大学	0	0	0	0	0	0					0	●中松竜佑－上野佑貴

【先攻】(本)和田隆太(二)石原健司

【後攻】――

【戦評】

1点を先制した中京大は4回、4番・和田がセンターオーバーの3点本塁打などで4得点。5回と6回にも敵失につけ込み、1点ずつを追加しコールド勝ちをした。四天王寺大は元気のあるはつらつとしたプレーだったが、中京大の深津投手に6回まで無安打無得点に抑えられた。深津投手は9奪三振、内野ゴロ6、内野飛球2、外野飛球1、四球1、死球1。

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日) 】 準々決勝

C球場: 坂戸市民総合運動公園第2多目的運動場A 第3試合 14:28 ~ 16:00 【 試合時間 1時間32分 】

No.26		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
	東海大学	0	0	0	0	1						1	●高橋宏允－竹内和樹、有泉賢太
	早稲田大学	2	1	0	5	x						8	○古川恵士－平野修太

【先攻】――

【後攻】(二)平野修太、兼子修治

【戦評】

早稲田大は初回、平野の2点二塁打で先制すると、2回に1点を加え、4回には打者一巡・6安打で大量5点を奪い、準決勝進出を決めた。東海大は、4回まで走者1人に抑えられていたが、5回、先頭の代打・平山が中前安打で出塁。盗塁などで三進後、有泉の内野安打で生還。しかし反撃はこの1点にとどまり敗れた。

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日) 】 準々決勝

B球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場B 第3試合 13:27 ~ 14:56 【 試合時間 1時間29分 】

No.27		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	中京学院大学	0	0	0	0	0	0	0				0	●片岡 涼－園田智幸
	九州共立大学	0	2	0	0	0	0	x				2	○三谷祥平－山田雄太郎

【先攻】――

【後攻】――

【戦評】

九州共立大は2回、二死ながら安打と死球から走者二・三塁の絶好機を築くと、8番・前田の打球は三遊間を破る安打となり、二者が生還。結局この得点が決勝点となり、ワンチャンスを生かした九州共立大がベスト4に名乗りを上げた。中京学院大は、毎回のように入走者を出しながら得点することができない苦しい試合展開。準決勝進出はならなかった。

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日) 】 準々決勝

A球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場A 第3試合 14:10 ~ 15:44 【 試合時間 1時間34分 】

No.28		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
	岡山大学	0	0	2	0	0						2	●水野拓実－居相史人
	神戸学院大学	4	4	0	0	1x						9	○永野 壘、楠岡侑也－丸山大地

【先攻】(二)池内拓洋

【後攻】(本)岩田貴晶(三)河添幹也

【戦評】

神戸学院大は初回到河本の2点三塁打などで4点を先取、2回にも岩田の3ランなど打者一巡で4点を追加、大量リードを奪って試合を決めた。岡山大は3回に池内の二塁打などで2点を加えた。しかし、反撃はこの2点にとどまり準決勝進出はならなかった。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学男子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第3日目 :【 9月3日(月) 】 準決勝

A球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場A 第1試合 9:00 ~ 10:34 【試合時間 1時間34分】

No.29		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
	中京大学	0	0	0	0	0						0	●深津悠平－和田隆太
	早稲田大学	2	0	2	4	x						8	○古川恵士－平野修太

【先攻】――

【後攻】(二)大川 孝

【戦評】

東日本と西日本の覇者同士の対戦となった準決勝戦。早稲田大は初回、一死三塁から吉田の中前安打など2点で先制、3回に2点、4回にも打者一巡の攻撃で4点を加えて大量リードを奪い試合を決めた。中京大は、ここまで3試合を粘りの投球で投げ抜いてきた深津投手が力投したが、早稲田打線につかまり、決勝進出はならなかった。

□ ★ 第3日目 :【 9月3日(月) 】 準決勝

B球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場B 第1試合 8:56 ~ 10:33 【試合時間 1時間37分】

No.30		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	九州共立大学	0	0	0	0	0	0	1				1	●前田征那－山田雄太郎
	神戸学院大学	1	1	0	0	0	0	x				2	○片岡正貴－丸山大地

【先攻】――

【後攻】(本)川島正敬

【戦評】

神戸学院大は初回、二死から川島の中越弾で1点を先制。2回には安打で出塁の走者が暴投と犠打で三進、河添の適時打で還って1点を加えると、片岡投手が相手打線の反撃をしのぎ、接戦をものにした。九州共立大は、6回まで得点を奪えず、あとがない7回に立石の安打を足場に1点を返し、一矢を報いたが、反撃及ばず敗れた。

□ ★ 第3日目 :【 9月3日(月) 】 決勝

A球場: 坂戸市民総合運動公園軟式球場A 第2試合 11:41 ~ 13:01 【試合時間 1時間20分】

No.31		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
	神戸学院大学	0	0	0	1	0						1	●片岡正貴、永野 塁－丸山大地
	早稲田大学	0	6	3	2	x						11	○古川恵士－平野修太

【先攻】――

【後攻】(二)北村和也、平野修太

【戦評】

早稲田大は2回、2つの押し出しと北村と平野の2点タイムリー二塁打2本などで大量6点を先行すると、着々と加点。観客席の応援を背に受けて、7年ぶり2回目の栄冠を勝ちとった。神戸学院大は3回まで二塁を踏めない苦しい試合展開。4回に樋上の安打を足場に1点を返したが、早稲田・古川投手を崩せず、涙を飲んだ。